

ふるさと東総

平成24年 3 月 1 日発行 No.11

掲載内容

- 東総地区広域市町村圏事務組合管理者あいさつ・・・ 2
- ごみ処理広域化推進事業・・・ 2
- 銚子連絡道路早期整備への促進・・・ 3
- 東総地区広域市町村圏事務組合の概要・・・ 3
- 中学生海外派遣研修事業・・・ 4
- その他の主な事業・・・ 4
- 情報公開制度・個人情報保護制度の運用状況・・・ 4



【中学生海外派遣研修事業 交流校であるマレーシアのアブ・バカル校にて】

編集・発行／東総地区広域市町村圏事務組合

〒289-2521 千葉県旭市ハの 612-1 東総振興センター内

電話：0479-62-3305 FAX：0479-62-3302

ホームページアドレス <http://www.tksj.jp/>



はじめに ～震災復興と広域行政について～

昨年の3月11日は、この東総地区において忘れる事の出来ない悪夢のような一日となりました。突如として発生した東日本大震災により、旭市において死者13人、行方不明者2人、住宅被害は3市で7,000世帯以上にも及ぶ甚大な被害をもたらしました。犠牲になられた方々とご遺族に対し、深くお悔やみを申し上げますとともに、被災されました多くの圏域住民の皆さまに心からお見舞い申し上げます。

さて、国内経済は、この東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にある中で、緩やかに持ち直しているところであります。しかし、先の見えない原子力災害の影響に加え、欧州の政府債務危機などを背景とした海外景気の下振れや円高の進行により、国内景気が更に悪化する可能性があるとの事です。

このような中で、地方が主役の国づくりを目指した改革が推進されており、日常生活圏の広がりに対応した行政サービスの提供やまちづくりなどの高度化する行政事務への対処及び広域的な行政需要への対応がますます重要となっております。

この東総地区広域市町村圏においても、地方道路の整備やごみ処理の広域化などの住環境整備や福祉・医療施策など広域的な行政サービスの充実が望まれています。そして、これらは震災復興へとつながるものであると思います。様々な課題はあると思いますが、この東総地域の恵まれた自然環境と観光資源や産業基盤などを活かしながら、圏域構成市と連携し、圏域住民の皆さまと一体になり、人と自然が調和し安心して暮らせる地域の実現を目指して、これからの広域行政に取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします。圏域住民の皆さまの御健勝と御発展を心からお祈り申し上げます。

東総地区広域市町村圏事務組合管理者（旭市長） 明智忠直

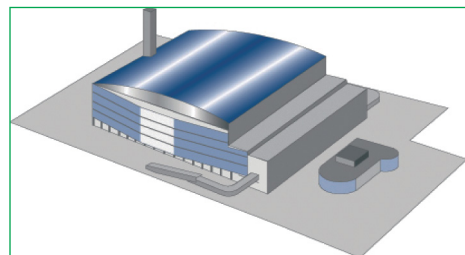
●ごみ処理広域化推進事業●

■銚子市野尻町地区を広域ごみ焼却施設の建設候補地として検討しています。

現在、事務組合では、銚子市野尻町地区を広域ごみ焼却施設の建設候補地としており、候補地周辺にお住まいの皆様のご理解を得ることを最優先に考え、説明会や意見交換会、先進施設見学会などを実施し、地元町内会（銚子市野尻町ほか15町）との基本協定の締結を目指して取り組んでいます。

基本協定とは、ごみ処理や施設整備に係る各種計画策定、処理方式の選定作業など、施設の建設工事着工前までの計画を進めるとともに、候補地周辺にお住まいの皆様がご心配するさまざまな問題点について、今後、地元町内会の皆様と話し合っていくことを目的としたものです。

ことし2月4日現在で、野尻町を含め計9町内会と基本協定を締結することができましたが、今後も引き続き、地元町内会との協定締結を目指して取り組んでまいります。銚子市、旭市、匝瑳市の既存のごみ焼却施設が老朽化する中、一日も早く新たな施設建設が実現できるよう努めてまいります。



**銚子市、旭市、匝瑳市にお住まいの皆様には、
ごみ処理広域化の推進にご理解とご協力をお願いいたします。**

ごみ処理広域化の メリット

- ・ダイオキシン類の排出削減
- ・リサイクルセンターを充実させ、効率的な再資源化の促進
- ・焼却エネルギーを利用した売電や温熱供給が可能
- ・人件費、維持管理費など、ごみ処理経費の削減 …… など

● 銚子連絡道路早期整備への促進 ●



啓発活動

例年実施している銚子連絡道路整備促進地区大会につきましては、今回東日本大震災の影響により中止となりました。

そこで、平成23年11月13日に開催された匝瑳市「そうさ農業まつり」と11月23日に開催された旭市「海上産業まつり」の会場において、訪れた方々にパンフレット等の配布を行い、多くの来場者に対して銚子連絡道路早期完成に向けての啓発活動を行いました。

要望活動

平成24年2月8日、山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会は、地元選出議員である谷田川元衆議院議員とともに、民主党幹事長室や国土交通省を訪問し、「地域住民の安心安全な生活空間と地元産業の活性化を図るために銚子連絡道路の一日も早い完成を目指してもらいたい」と要望活動を行いました。



民主党幹事長室



国土交通省

東総地区広域市町村圏事務組合の概要

○事務組合の構成

構成団体：銚子市、旭市、匝瑳市

圏域面積：315.60平方km

圏域人口：179,082人

銚子市 面積：83.91平方km 人口：70,210人

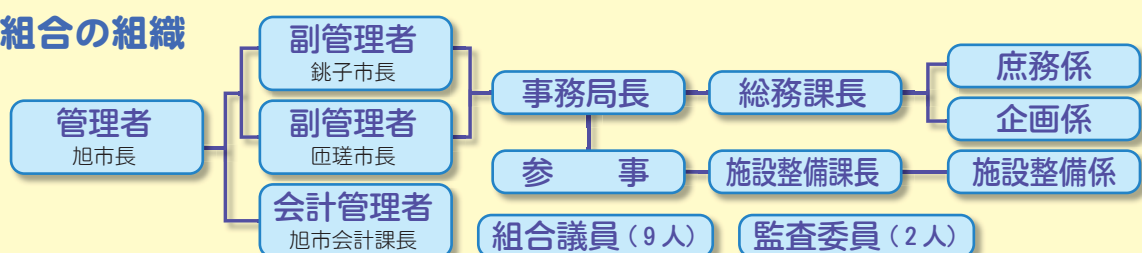
旭市 面積：129.91平方km 人口：69,058人

匝瑳市 面積：101.78平方km 人口：39,814人

【平成22年国勢調査より】



○事務組合の組織



●平成23年度 東総地区中学生海外派遣研修事業●

平成23年7月26日から30日（4泊5日）までの日程で、圏域内中学2年生31名の参加による『東総地区中学生海外派遣研修（シンガポール／マレーシア）』が実施されました。

この研修では、シンガポール市内での班別自主研修やマレーシアのアブ・バカル校を訪れての交流会、アブ・バカル校生徒と一緒にマレーシア文化村でのパティック体験など、英会話の実践をテーマに充実した研修を行ってきました。

班別自主研修では、事前の研修会で計画した行動予定に従ってシンガポールの街を散策しました。朝方スコールの洗礼を受けて、各班ともなかなか計画通りには進みませんでした。班員が協力し合い、これまで学習した英会話を駆使して、道を尋ねたり買い物をしたりと楽しく一日を過ごしました。

マレーシアのアブ・バカル校での交流会では、現地校生徒からは歌の披露、こちらの研修団からは歌・リコーダー演奏・空手の型・南中ソーランの踊りを披露し、また交流の証として記念品の交換をしたり、校内を案内してもらいお互いの文化に触れあう事ができました。研修団一人ひとりに現地校生徒が付き添ってくれて、短い時間のなかではありましたが友好的に英会話での交流をすることができ、実りのある交流会となりました。

今回の研修では、中国系やイスラム系などの多民族国家であるシンガポールで、公用語である英語を通して、お互いの文化・生活・宗教を理解し尊重して生活している様子を体感することができました。

この経験が、将来を担う中学生たちにとって国際社会への関心や英語の必要性を認識するきっかけとなってくれればと思います。



班別自主研修 英語で道を尋ねる



班別自主研修 終了後のレポート作成



交流会 南中ソーラン決めポーズ



交流会 マンツーマンで英会話交流

●その他の主な事業●

- ・ **職員採用試験事業** 構成市、圏域内一部事務組合の職員採用試験を合同で実施し、経費の節減・採用候補者の資質の均一化を図ります。

平成23年度

実施日：平成23年9月18日（日）

試験会場：旭市立第二中学校

参加団体：5団体（銚子市、旭市、匝瑳市、匝瑳市横芝光町消防組合、東総広域水道企業団）

試験職種：12職種（一般行政職、技術職、保育士職、消防職等）

応募者数：413名

受験者数：369名

- ・ **職員共同研修事業** 構成市職員の公務員として執務に必要な基礎的知識を習得するとともに、指導力及び勤務能率の向上を図ります。

新任職員研修：新規採用職員

中級職員研修：在職期間10年以上の職員

監督者研修：係長又は同等の職にある者

……ほか

情報公開制度・個人情報保護制度の運用状況

平成23年 情報公開制度運用状況

開示請求件数…… 0 件

平成23年 個人情報保護制度運用状況

開示請求件数…… 0 件